

## 「年中児発達相談事業」と「円滑な就学に向けた情報連携」の 全市展開について

近年、発達の支援が必要な子どもが増加傾向にあり、保護者を含めた相談支援体制の整備が喫緊の課題となっています。

そのような状況の中で、3歳児健診以降就学までの間において、発達の支援が必要な子どもに早期から気づく手立てとして、5歳児健診を実施している市町村があります。

本市では、健診を受ける子どもの負担を考慮し、健診という特殊な環境ではない日常の集団生活の場面での観察が有効と考え、平成25年度からモデル的に幼稚園・保育所の協力を得て「発達相談アンケートと園巡回相談」をベースとした方法を模索してきました。その結果、平成27年度に行った子育て支援の内容を中心にしたアンケートでは、9割を超える保護者から理解や支持を得たところです。

また一方で、発達の支援が必要な子どもの就学のために、本市では様々な取組を行っていますが、幼児期から学童期までの子どもの育ちに関わる関係団体の情報連携が課題となっているところです。

これを踏まえて、今年度は、これまでの子育て支援の内容を中心に据えたアンケートの項目に、新たに就学予定の小学校名を組み入れた「出雲市子ども・子育てアンケート」を全市展開するとともに、関係団体とも子どもの情報を共有することで、子どもの健やかな育ちを切れ目なく支えるしくみを構築します。

### 記

#### 1 事業実施関係団体

- ① 幼稚園・保育所等（以下「園」という。）
- ② 出雲市立小学校（以下「小学校」という。）
- ③ 出雲市(子ども政策課・保育幼稚園課・健康増進課)
- ④ 出雲市教育委員会（児童生徒支援課）

#### 2 対象児

市内の園に在籍する今年度5歳になる全ての子ども 約1,560人

#### 3 事業目的

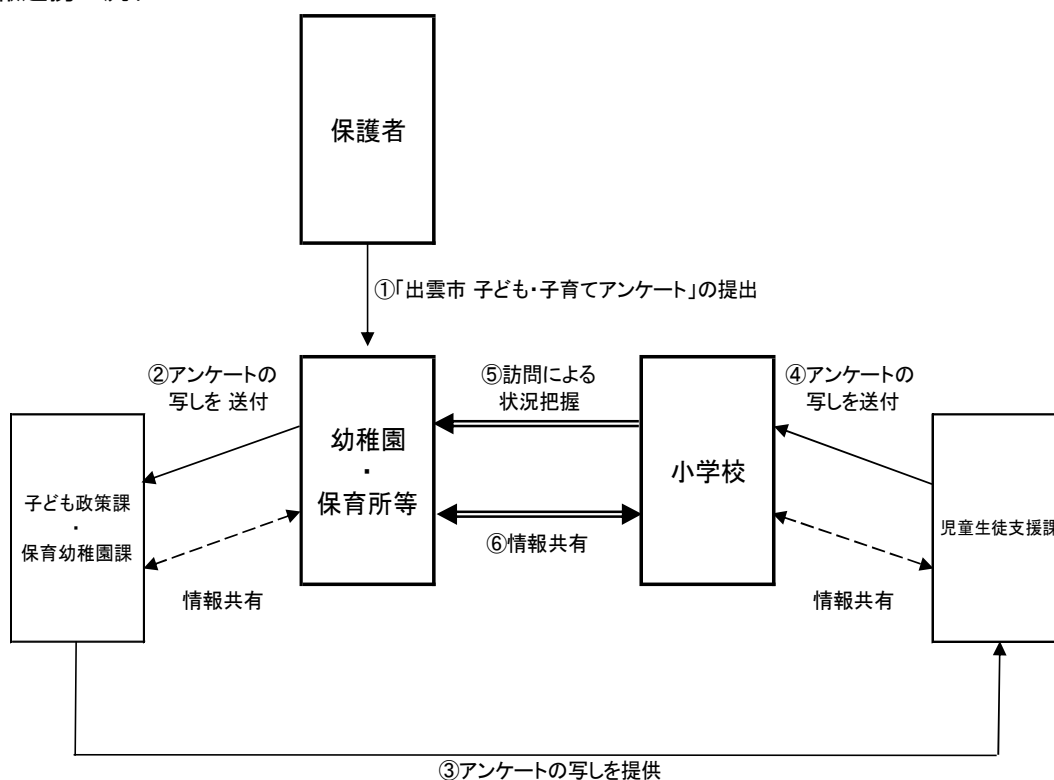
- (1) 保護者に対する相談等の子育て支援を行うとともに、発達の支援が必要な子どもに早期に気づき適正な支援につなげること。
- (2) 関係団体が情報を共有し、全ての子どもの円滑な就学につなげること。

#### 4 事業内容

- (1) 保護者を対象としたアンケートを実施する。
- (2) 園によるアンケートを活用した保護者面談と相談対応を実施する。
- (3) 保護者に希望がある場合の専門職員による相談対応を実施する。
- (4) アンケートの情報を関係団体が共有する。
- (5) 就学予定小学校による就学前の園訪問と子どもの状況把握を行う。

#### 5 円滑な就学に向けた情報連携について

##### ■情報連携の流れ



出雲市における発達支援の取組と「年中児発達相談事業等」の位置づけ

